

## 刈払機の安全な使用方法等について

令和4年7月13日

林材業安全管理指導専門家 市川和歳

### 1 一般的注意事項

- (1) 服装（長袖、長ズボン、保護帽、防護メガネ、防振手袋、耳栓、履物など）
- (2) 悪天候時の作業中止（強風、大雨、大雪、雷、など）
- (3) 熱中症予防対策（作業管理、暑さへの順化、休憩、水分、塩分補給、WBGT値の活用など）
- (4) 蜂刺され対策、マダニ（SFTS）に注意、危険な動植物等
- (5) 緊急時連絡体制の整備、救急手当（救急箱の常備）など

### 2 作業計画

- (1) 作業準備の打合せ（リスクアセスメント、危険予知（KY）活動、指差し呼称活動、ヒヤリ・ハット活動等）と管理者、作業指揮者の役割
- (2) 作業中の禁止・留意事項等（労働安全衛生法等から抜粋）
  - \* 近接作業の禁止（半径5m以内の立入り禁止、できれば1.5m）
  - \* 上下作業の禁止、急傾斜斜面での上方、下方に向っての作業
  - \* 石ころ、空カン、針金の除去、障害物の確認など
- (3) 基本動作（足の運び方、バランス、刈刃を体の正面で使うなど）
- (4) 刈払機の移動等（必ずカバーを掛ける。刈刃を前方に）
- (5) 暖機運転（アイドリング）と冷却運転

### 3 作業方法

- (1) 鋸断位置（刈刃1/3）と刈幅（1, 5m程度）
- (2) キックバックに注意（キックバックを起こす刈刃の位置）
- (3) 大振り、往復刈りはしない
- (4) 作業に合った刈払機、刈刃を選定する（刈刃の種類とチップソーの選び方）

### 4 刈払機の安全装置

- (1) 飛散防止カバー（取り外さない、位置を変えない）
- (2) 緊急時離脱装置の確認
- (3) 腰ベルト、吊りひもの着用（絶対に外さない）
- (4) スロットルレバーとトリガー方式の採用

## 5 刈払機の点検整備

- (1) 毎日の点検 (エンジン周辺の汚れ、エアクリーナー、燃料タンク空気穴、歯車室周辺の汚れ、刈刃の損傷、安全装置、燃料など)
- (2) 毎週の点検 (燃料フィルター、フレキシブルシャフト、歯車室の潤滑状況と耐熱グリースの注入など)
- (3) 毎月の点検 (マフラー、プラグ、クラッチ、リコイルスターターなど)
- (4) 長期格納時 (必ず燃料を抜く)
- (5) 刈刃の目立て(丸鋸刃、笹刈刃、チップソー)

## 6 振動障害とその予防

- (1) 振動障害のあらまし
- (2) 振動障害の予防措置 (刈払機・刈刃の選定、点検整備など)
- (3) 作業時間
  - \* 一連続作業時間は、おおむね 30 分以内とし、一連続作業の後、5 分以上の休止時間を設けること。
  - \* 周波数補正振動加速度実効値の三軸合成値が示されているものは、それにより操作時間を管理する。(平成 21 年 7 月 10 日通達)
- (4) 日常生活の注意事項 (運動、防寒、保温、栄養、休養、入浴、禁煙など)
- (5) 特殊健康診断と健康管理

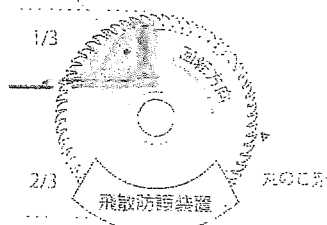
## 7 関係法令等

- (1) 労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57 号) ・ 施行令 ・ 労働安全衛生規則 ・ 通達等

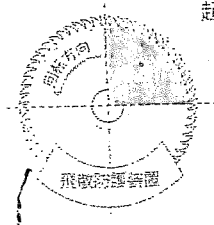
### \* 飛石事故を起こさないための注意事項

- ・ 大振り、往復刈をしない
- ・ 刈刃のスピードと鋸断位置に注意する
- ・ チップの欠損した刈刃は使用しない (作業に合った刈刃の選択)
- ・ 刈払い方向に留意して作業する(左前方が多い)
- ・ キックバックを減らす道具の選択も(ジズライザー等)
- ・ 防護対策 (防護ネットの使用、近接作業に留意等)

刈払い対象物に当てる位置



正面



キックバックを  
起こしやすい部分

### (刈払機作業の基本)

#### 刈払機の正しい装着

◇刈払機を正しく装着すること  
肩バンド、腰バンドによる適切な  
3点支持にて装着。

